

おん きょう

遠慶



新潟教区報 第135号
 2023 (令和5) 年 7月28日発行

編集/浄土真宗本願寺派 「御同朋の社会をめざす運動」新潟教区委員会 広報部会
 〒940-2402
 新潟県長岡市与板町与板乙 4356 本願寺新潟別院内
 TEL: 0258-72-2120
 FAX: 0258-72-2536



三月二十九日から修行された、親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要は五月二十一日をもって無事円成えんじょうとなりました。

教区内からも各組の参拝団計三百三名が本山に参拝しました。今号では、慶讃法要記念といまして、各組の団体参拝の写真を掲載します。(三ページに続く)

親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要 本山団体参拝

3月30日午前 与板組・長岡組団体参拝 (写真)



4月14日午後 元上組団体参拝 (写真下)



法話 迷う私に届いた、先回りのおはたらき

本願寺派布教使 三條組至徳寺衆徒 宗村 泰行

まだ保育園の年少さんの頃だったと思います。ある日の事、私はいつもどおり庭で遊んでおりました。私には兄がおりますがその時は遊びに出ていたか何かで、私一人で遊んでおりました。いつもならば兄に付いて回って、いい時間になれば家の中に戻るところ、その日は一人だったため気付いた時には家の庭から離れて道路をてくてく歩いて行っておりまして。状況としましては完全に迷子になっていたのですが、泣いていた記憶もありませんので、恐くはなかったようです。しかし自動車の通る道で、家からもだいぶ遠く離れてしまっていました。思い出すほど、いつ車にひかれてもおかしくない状況でした。そんな状況でも当時の私は全く怖がらずにのほほんとしておりました。その理由は、一言で言えば危険という事を知らなかったからではないでしょうか。自動車にはねられればどうなるか、帰り道が分からなくなるか。与えられた安全が当然あるものとして生きてきており、危険に思い至らないのです。

その時も結局、私がいけないことに気付いた父が探しに来て、無事見つけて連れ帰ってくれたことですが、仏様のみ教えに照らされて、私は、いくら成長しても、車が行き交う危険な道路へ向かおう向かおうとする子供の様なものと気付かされます。

私という存在は、心と体に常に欲望・怒り・嫉みを抱える凡夫という存在だからです。み教えは認めたくない私のありのままの姿を照らし出してくださいますが、同時に迷子の私の前に行くべき道を照らし出してくださいます。

「南無阿弥陀仏」のお念仏は、「必ず救う、我に任せよ」との阿弥陀さまのお慈悲の喚び声です。この「南無阿弥陀仏」が私に至り届いて

くださったからには、迷いの身の私そのままでお任せ出来るのです。

あの日、迷子になった日、父の大きな背に背負われて帰った私は、任せる事の出来る存在に任せ切る大きな安心の中にありました。私自身が気付いてない危険から、気付かないまま助けられていました。

阿弥陀さまは、私がどこまでいっても自分の力では苦しみの境界きょうがいを抜け出す事が出来ないという事を正しく見抜かれ、私が気付くより先に、お浄土という私の生まれ往くべき処をととのえてくださいました。み教えと出遇い、自分の愚かさを気付かされて、それでも必ず救うおはたらきに出遇いました。安心してお任せできるそのおはたらきに、感謝のお念仏申すところでございます。





4月14日午後 三条組
(写真上二枚)

5月17日午前 地藏堂組・
新潟組・巻組
(写真右・下)



親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要
本山団体参拝

多くのご参拝
ありがとうございました



寺院巡り

巻組 願正寺

がんしょうじ

住所 新潟市西蒲区角田浜一六三
電話 〇二五六七七一四〇三



↑乙始山 願正寺

乙始山願正寺の創始は詳らかではないが、元は北蒲原郡中条町乙村乙宝寺の分寺と伝えられる。第一世は暁雲和尚で一一九四年九月六日に往生しているがこの時は天台宗であった。三代目の錫遥の時は岩屋近くにあった九つの宿坊のうちの一つに住まいしていた。聖人が法難で国府に來られた二年後に蒲原地域を巡教された折に、岩屋の話聞いて訪れ、そこで阿弥陀経をよまれたという。その声に導かれて聖人の直接のご教化を受け、すぐさま浄土真宗に改宗し、法名を教善と改めた。お弟子となって共に行きたいと願ったが、貴方はこの地に縁があるのだから、この地にお念仏の教えを広めてくださいと諭され、形見に頂いた薄墨のお名号と「別るといふばかりなり昨日今日、明日は逢い見ん弥陀の浄土に」という歌が寺宝として残る。その後移り住んだ乙始の山が願正寺の山号となり現在地に移転したのが一六五二年三月十五日で、信徒の願いによって転ず、と記録にある。本堂は一七七七年、庫裏は一八〇六年に造営されている。乙始の山時代に蓮如上人をお迎えして法要を務めたという記録があり、境内前に「両大師御奮跡」という石碑がある。苗字の乙山は山号から来ていると思われるが、この苗字は近隣には願正寺に縁ある二軒だけで、同村には一軒しかない。初代が住んでいた角田岬に今も乙尻という地名が残っているので、乙の字は乙村乙宝寺に繋がると考えられる。

教務所・別院からのお知らせ(会場記載がないものは新潟別院で行います)
二〇二三(令和五)年度 八月〜十一月行事予定

▽第一連区青年布教使研修

日時 九月七・八日

会場 ホテルサンルート新潟

講師 奈良教区 勝光寺 花岡 静人さん
安芸教区 藤井 聡之さん

▽門徒総代研修会(三条組主管)

日時 十月三・四日

会場 湯田上温泉ホテル小柳

講師 山口教区 浄土寺 荻隆宣さん

▽常例法座

日時 十・十一月十一日

▽本願寺新潟別院謝恩講法要

日時 十月二十三・二十四日

講師 三条組 長念寺 山之内 暢晃さん
巻組 妙光寺 井上 慶永さん

お悔み 生前のご功労を偲び、謹んでお悔やみ申しあげます。

▼三月八日 長岡組 西樂寺前住職 春日 浩三さん(九十一歳)

▼三月二十二日 与板組 明元寺前住職 中院 顯世さん(七十七歳)

▼五月二十二日 長岡組 明善寺坊守 後藤 善子さん(七十九歳)

教師 五月十九日 長岡組 正覺寺 若槻 頌さん(釋頌教)

得度 三月十五日 与板組 蓮正寺 豊田 健人さん(釋健信)

▼三月十五日 与板組 蓮正寺 豊田 瞳さん(釋瞳信)

▼三月十五日 地藏堂組 勝敬寺 鈴木 智乗さん(釋智乗)

▼三月十五日 新潟組 浄光寺 蒲原 舜さん(釋靈舜)

広報部会では教区報とホームページについての「意見・感想」を募集しています。「意見・感想」等ある方は新潟教区教務所へ電話やメールにてご連絡ください。よろしく願います。

